

アリーナの規模についての検討結果

- 第4回有識者会議において、A～C案の各案をお示したところ、C案を支持する御意見が多かったことから、C案をベースに規模の検討をしました。
- 一方、コスト面を懸念する声もあったことから、サブアリーナの面積については再度検討しました。

(参考) C案を支持 4名、B案を支持 2名、
 B・C案どちらでもよい又はB案以上を支持 2名、
 C案以上を要望 2名、支持する案の提示なし 1名 計 11名からの御意見

【メインアリーナ】

- ・第4回有識者会議でお示ししたC案を採用することとします。

メインアリーナ (競技フロア)	Bリーグで使用する 場合の観客席 (仮設席には立見席を含む)	コンサートで使用する 場合の観客席	備考
40m×50m 程度 2,000 m ² 程度 バスケット 2面	固定席：1,120 席 可動席：1,488 席 仮設席： 892 席 合 計：3,500 席	一方向型 4,400 席 全方向型 5,000 席	Bリーグ (B2) 且つ Vリーグに対応

(参考)

メインアリーナ (競技フロア)	Bリーグで使用する 場合の観客席 (仮設席には立見席を含む)	コンサートで使用する 場合の観客席	備考
A 案 37.5m×38m 1,425 m ² バスケット 2面	固定席：1,120 席 可動席： 720 席 仮設席： 660 席 合 計：2,500 席	一方向型 2,880 席 全方向型 3,500 席	現在のカクヒログ ループスタジアム (3,500人収容)と 同程度
B 案 40m×46.4m 1,856 m ² バスケット 2面	固定席： 696 席 可動席：1,488 席 仮設席： 816 席 合 計：3,000 席	一方向型 3,500 席 全方向型 4,040 席	Bリーグ (B2) に 対応

【サブアリーナ】

- ・現市民体育館にて利用実績の多い競技が利用可能な面積を確保することとします。
- ・第4回有識者会議でお示ししたC案では、「必要な余裕を確保」としておりましたが、各競技規則に基づき精査し、最も必要面積が大きいテニスができる面積とします。

各競技の1面あたりの競技領域の面積（障害物からの離隔を含む）

- ・卓球 $7.0 \times 14.0 = 98 \text{ m}^2$ (公財)日本卓球協会 日本卓球ルールブック より
- ・バドミントン $6.1 \times 13.4 = 82 \text{ m}^2$ (公財)日本バドミントン協会 バドミントン競技規則 より
- ・バレーボール $15.0 \times 24.0 = 360 \text{ m}^2$ (公財)日本バレーボール協会 バレーボール6人制競技規則 より
- ・バスケットボール $19.0 \times 32.0 = 608 \text{ m}^2$ (公財)日本バスケットボール協会 バスケットボール競技規則 より
- ・テニス $23.0 \times 40.0 = 920 \text{ m}^2$ (公財)日本ソフトテニス連盟 ソフトテニスハンドブック より

サブアリーナ	競技可能種目
23m×40m 程度 920 m ² 程度	バスケットボール1面、バレーボール2面、 テニス1面、バドミントン4面、卓球16面 など

(参考 第4回有識者会議資料より)

サブアリーナ		競技可能種目
A案・B案	15.5m×29.0m 450 m ²	バスケットボール1面、バレーボール1面、 テニス1面、バドミントン3面、卓球6面 など
C案	25.0m×38.0m 950 m ²	バスケットボール1面、バレーボール2面、 テニス1面、バドミントン4面、卓球16面 など

【多目的ルーム】

- ・第4回有識者会議でお示しした各案と同程度の面積を確保することとします。
- ・多目的ルームは、スタジオ利用や大会催事等に必要となる控室のほか、研修室としても利用が可能とするようにします。

多目的ルーム	利用用途
560 m ² 程度	スタジオ利用、研修室、大会・催事等の控室など

【キッズルーム】

- ・規模については、平成30年第2回市議会定例会において「子どもの遊び場づくりに関する請願」が採択されていること等を踏まえ、他市の事例を参考に、県内最大級の面積を確保することとします。

キッズルーム	利用用途
700 m ² 程度	屋内遊戯室、子どもの運動プログラムの実施など

(参考)

- ・あそび王国ぴいかあぶう 約 695 m² (つがる市) イオンモールつがる柏
- ・すくすくーる 約 522 m² (五所川原市) エルムの街ショッピングセンター
- ・こどもはっち 約 460 m² (八戸市) 八戸ポータルミュージアム (はっち)
- ・もくもく木育広場 約 300 m² (青森市) 青森駅ビル・ラビナ
- ・弘前市駅前こどもの広場 約 165 m² (弘前市) ヒロロ (ヒロロスクエア・子育てエリア)

※青森市調べによる

【トレーニングルーム等】

- ・民間事業者の提案も踏まえて規模を検討するとともに、ジョギングコースの設置を検討します。

【駐車場】

- ・駐車台数については、以下のとおりアリーナの利用者数や公共交通との分担から必要台数を確保することとします。

＜平常時＞

イベント以外の利用者数は、現市民体育館の利用者数を基に、中間取りまとめ案で示すアリーナの面積等を考慮して年間約 214,000 人（1 日あたり約 701 人）と想定すると、自家用車の利用は約 291 台と推定されることから、300 台程度確保することとします。

＜大会・イベント開催時＞

最大収容人数 5,000 人のうち、市営バス等の公共交通機関や、シャトルバスの利用等を想定することにより、自家用車の利用は約 1,185 台と推定されることから、1,200 台程度を確保することとします。

- ・平常時の駐車場として 300 台程度をアリーナ付近に設置するとともに、大会やイベント開催時は東西用地を臨時駐車場として活用し、アリーナ周辺で 1,200 台程度の駐車台数を確保することとします。

南側	東側	西側	合計
約 300 台	約 700 台	約 200 台	約 1,200 台

(参考) マエダアリーナ

- ・平常時 384 台 第 2 駐車場
- ・イベント時 1,360 台 第 1 ・ 第 2 ・ 第 3 駐車場

【アリーナ全体】

- ・合計面積は約 13,800 m²とします。各諸室の面積については、引き続き検討します。

	B 案	C 案	中間とりまとめ案
メインアリーナ	1,856 m ²	2,000 m ²	2,000 m ² 程度
サブアリーナ	450 m ²	950 m ²	920 m ² 程度
多目的ルーム・研修室等	560 m ²	560 m ²	560 m ² 程度
キッズルーム			700 m ² 程度
トレーニングルーム・更衣室・ トイレ・管理事務室 等	約 9,234 m ²	約 10,790 m ²	約 9,620 m ²
延床面積計	約 12,100 m ²	約 14,300 m ²	約 13,800 m ²